

報道関係社各位

**主原料の石灰石と植物由来樹脂を使用した「Bio LIMEX Bag」、
「森美術館ミュージアムショップ」の買い物袋に採用
～袋の素材として石油由来樹脂を使用せず、CO2が削減可能な環境性能を評価～**

石灰石を主原料とし、原料に水や木材パルプを使用せず紙の代替や石油由来原料の使用量を抑えてプラスチック代替となる新素材「LIMEX（ライメックス）」を開発・製造・販売する株式会社 TBM（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、森ビル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻 慎吾、以下森ビル）が運営する「森美術館ミュージアムショップ」の買い物袋に、石灰石と植物由来樹脂でできた「Bio LIMEX Bag」が採用されたことを発表致します。今回導入された「Bio LIMEX Bag」は、素材として石油由来樹脂を 100%使用せず、既存のプラスチック製の袋と比較して CO2 が削減可能な高い環境性能を有しており、2019 年 6 月に開催された G20 大阪サミット会場内の運営品としても採用されました。本採用を契機に TBM は、2020 年 7 月に予定されているレジ袋有料化に向けて、小売業界への「Bio LIMEX Bag」および「LIMEX Bag」のセールスを強化して参ります。



この袋は主原料の石灰石と、植物由来樹脂のみを使った新素材LIMEXでつくられています。

This bag is made from LIMEX, a new material consisting of limestone as the main raw material and biomass-based resin.

■ 背景

持続可能な開発目標(SDGs)やプラスチック問題の課題解決に向けて、企業の対応が求められています。今年に入り、海外で使い捨てプラスチックを規制する動きは強まり、アフリカ諸国やインド、中国など40カ国以上が既にレジ袋の使用を厳しく制限しており、欧州連合(EU)はレジ袋を含む使い捨てプラスチックを禁止する法案が可決されています。日本国内でも、長野県軽井沢町で開催された「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」において、スーパーやコンビニなどの小売業を対象に、プラスチック製レジ袋の有料化の義務付ける方針が経済産業大臣より発表されました。

現在TBMは、使い捨てプラスチック規制の高まりを受けて、世界中からLIMEXに関して500件以上の引き合いを頂くなど、プラスチックの代替素材として注目を集めています。昨年、ポーランドで開催されたCOP24(第24回国連気候変動枠組条約締約国会議)では、イベント「LIMEX-石灰石で拓く脱炭素社会への道」を主催し、LIMEX製のレジ袋、ゴミ袋、ショッパーを発表いたしました。また、「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」の「G20 イノベーション展」の中で、地球環境に貢献するイノベーション事例の1つとして、石灰石から生まれた紙やプラスチックを代替する新素材「LIMEX」の取り組みを紹介いたしました。

■ 概要

「Bio LIMEX Bag」は、主原料となる石灰石と植物由来樹脂を使用しており、素材として石油由来樹脂を100%使用していません。石油・水・森林資源の保全やCO2排出の削減に貢献することができ、また主原料として安価な石灰石を活用することで、紙袋と比較して原料コストの削減も実現しています。2019年6月に開催されたG20大阪サミットでは、ゴミ袋タイプの「Bio LIMEX Bag」がサミット会場内の運営品として採用されました。

森ビルでは、環境問題への取り組みとして、「森美術館ミュージアムショップ」で使用しているプラスチック製の買い物袋の切り替えを検討する中で、石油由来樹脂を使用しない素材を使用した「Bio LIMEX Bag」の高い環境性能を評価頂き、採用に至りました。2019年11月19日(火)より、3サイズ(大・中・小)の「Bio LIMEX Bag」が導入されています。

本採用を契機にTBMは、2020年7月に予定されているレジ袋有料化に向けて、小売業界で使用されるレジ袋・買い物袋の代替製品として、「Bio LIMEX Bag」および「LIMEX Bag」のセールスを強化して参ります。

[Bio LIMEX Bag]

- ・使用開始：2019年11月19日(火)
- ・導入店舗：森美術館ミュージアムショップ(六本木ヒルズ森タワー53階 森美術館内)
- ・詳細はこちら：<https://tb-m.com/limex/products/limexbag/>

[森美術館 展示会情報]

「未来と芸術展：AI、ロボット、都市、生命——人は明日どう生きるのか」

本展は、AI、バイオ技術、ロボット工学、AR(拡張現実)など最先端のテクノロジーとその影響を受けて生まれたアート、デザイン、建築を通して、近未来の都市、環境問題からライフスタイル、そして社会や人間のあり方を考える展示会です。

- ・詳細はこちら：https://www.mori.art.museum/jp/exhibitions/future_art/index.html

■新素材「LIMEX（ライメックス）」について

[LIMEX とは]

- ・ LIMEX は炭酸カルシウムなど無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合材料であり、日本発の新素材。
- ・ 2013 年、経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択。
- ・ 2014 年、国内特許を取得。現在、日中米欧を含む 30 か国以上で登録済。
- ・ 2015 年、宮城県白石市に年産 6,000 トンの LIMEX を製造する第 1 工場を建設。
- ・ 2016 年、米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2017 年、「第 7 回日米イノベーションアワード」において『イノベーション・ショーケース』を受賞
- ・ 2018 年、COP24（第 24 回国連気候変動枠組条約締約国会議）に日本政府代表団として参加
- ・ 2019 年、軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展。G20 大阪サミット 2019 の会場で使用されたゴミ袋、ノベルティとして LIMEX 製品が採用

[紙の代替として]

- ・ 通常、普通紙 1 トン生産する場合、木を約 20 本、水を約 85 トン使うが、LIMEX は原料に木や水を使用せず、石灰石 0.6~0.8 トンとポリオレフィン約 0.2~0.4 トンから LIMEX の紙代替製品（LIMEX シート）1 トンを生産可能。

※国内の製紙業界においては、単に伐採するだけでなく海外で植林活動を実施。

※使用済みの LIMEX の紙代替製品を廃棄する場合は可燃ごみ扱い。（古紙回収に出さない）

[プラスチックの代替として]

- ・ 従来のプラスチックの原料は石油由来樹脂 100%であるが、LIMEX では主原料が石灰石であり、石油由来樹脂の使用量を大きく削減可能。
- ・ LIMEX は、石灰石を主原料に石油由来樹脂と構成されているが、石油由来樹脂を 100%バイオ由来の素材に置き換えた Bio LIMEX 製品を発表（袋の代替製品）。
- ・ 単価の安い石灰石を主原料とすることで価格競争力を有する。
- ・ LIMEX の印刷物等のリサイクル材から、LIMEX 製のプラスチック成型品（LIMEX ペレットを加工）を製造することが可能。（LIMEX のアップサイクル）

[資源としての石灰石の埋蔵量]

- ・ 日本でも 100%自給自足できる資源。世界各地の埋蔵量も豊富で、ほぼ無尽蔵。

■ 株式会社 TBM

代表取締役 CEO : 山崎 敦義

本社 : 東京都中央区銀座 2-7-17-6F

設立 : 2011 年

資本金 : 107 億 4,480 万円（資本準備金含む） / 2019 年 2 月時点

事業内容 : LIMEX 及び LIMEX 製品の開発・製造・販売

URL : <https://tb-m.com/>

*本ニュースリリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 TBM コーポレート・コミュニケーション本部 笹木隆之 菊田譲

営業本部 佐々木駿

TEL: 03-3538-6777 FAX: 03-3538-6778 Email: infomail@tb-m.com